

## 目 次

1. The Value of Learning a Second Language .....	4
2. What Computers Can Do .....	8
3. Fast-Food Restaurants .....	13
4. Women in American Society .....	17
5. Characteristics of Human Infants .....	22
6. Ways of Thinking .....	27
7. Why Authors Write .....	33
8. Noise as a Source of Communication .....	39
9. Praising Children .....	45
10. Cooperation in Japan .....	52
11. The Weather in England .....	61
12. The Difference between Work and Labor .....	68
13. Office Automation and Its Problems .....	75
14. Writing a Friendly Letter .....	80
15. The Do-It-Yourself Movement .....	87
16. Women Teachers .....	94
17. The Importance of Reading .....	104
18. Nonverbal Communication .....	111
19. Questions about the Universe .....	118
20. Delighting in Dreams .....	129
21. Learning a New Language .....	140
22. The Chain of History .....	146
23. Two Englishmen in a Train .....	154
24. Making Friends in America .....	162
25. The Role of Television in Our Lives .....	168
26. The Web of Life .....	176
27. Writing between the Lines .....	185
28. The Four Stages of Culture Shock .....	193
29. Human Speech .....	202
30. The Meaning of Intelligence .....	212

### ■ NOTICE

- cf. / …参照。  
= …同義の語句・言い換えを示す。  
↔ …反義の語句を示す。  
( ) …省略可能を示す。  
[ ] …前の語句との言い換え可能を示す。  
(→ Q □) …関連する設問(Questions)の番号を示す。

## 解説

1. because it enables us to communicate with people in a different country and to learn more about that culture 「なぜならそれによって、異なる国の人々と意思を通じ合い、またその国の文化についていっそ多くを学ぶことができるからである」

▶ it enables us [to communicate (and)  
to learn] と続く。

▶ enable + 人 + to (do) 「人が～することを可能にする」 ここは無生物主語構文なので主語を副詞のように、目的語を主語にして訳すと日本語らしくなる。

3. But the real importance of learning another language goes even deeper. 「しかし、もう1つの言語を学ぶことの本当の重要性は、なおいっそう深い所にある。」

▶ go の後に補語がくると「いつも～である、～の状態にある」の意味。(⇒Q①)

例：The children go hungry.

「その子供たちはいつも腹をすかしている。」

4. It makes us realize the relativity of our values 「それによって私たちの価値観が相対的なものであることがわかる」

▶ make は使役動詞（～させる）で、make (V) + us (人) + realize (原形不定詞) は「人に～させる」の意味。無生物主語構文なので訳出する際工夫する。

▶ It は learning another language を指す。

5. whether they are cultural or linguistic 「それらが文化に関するものであれ、言語に関するものであれ」

▶ whether の導く節は、この場合は副詞節であるから、譲歩の意味を表し、whether A or B で「AにせよBにせよ」の意味。they は our values を受ける。

6. we come to understand that ~ 「私たちは～を理解するようになる」

## ◆ 類語チェック 1 ◆

▶ come to (do), get to (do), learn to (do) 「～するようになる」 (⇒Q③)

▶ understand の目的語になる that 節は that our way of looking ~ と that our values ~ の2つである。

8. Learning a foreign language is a double experience: as we learn

about the new language, ~ 「外国語を学ぶことは二重の経験である。というのも、新しい言語について学ぶにつれて～」

▶ このコロン（:）は、for (というのは) の意味である。

▶ a double experience (二重の経験) はコロン以下に示された内容を指す。  
(⇒Q④)

12. Speaking only one language can be compared to living in a room with no windows and no doors. 「1つの言葉しか話せないことは、窓も戸もない部屋に住んでいることにたとえられる。」

▶ be compared to ~ 「～にたとえられる」 これは compare A to B (AをBにたとえる) のAが、受動態で主語となっている。AはもちろんSpeaking only one language を指し、B = living である。compare A with B (AをBと比較する) も確実に覚えよう。

13. It is safe, but it is dark and closed. 「それは安全ではあるが、暗く、閉ざされている。」

▶ it は両方とも、living in a room with no windows and no doors を指す。

14. A foreign language brings new (light) into the room. 「外国語は新しい光をその部屋にもたらす。」 (⇒Q⑤)

light を使った熟語 bring A to light (Aを明るみに出す), in the light of ~ (～に照らして) を覚えよう。

15. With an elementary knowledge, we can look out of the windows and see a new, different world. 「初歩的な知識があれば、私たちは窓から外を眺め、新しい、異なった世界を目にすることができる。」

▶ 次の With a thorough knowledge ~ と照應している。

▶ With an elementary knowledge = If we have an elementary knowledge. with には「もし～があれば」、without には「もし～がなければ」の意味があることは、言うまでもないことである。

例：With a little more money, I could buy a car.

= If I had a little more money, I could buy a car.

「もう少しお金があれば車を買えるのに。」(could buy は仮定法過去)

Without your help, I couldn't succeed.

= If it were not for your help, I couldn't succeed.

「君の助けがなければ私は成功することができない。」

▶ 次行の With a thorough knowledge も「もし～があれば」という条件を表している。(⇒Q⑥)

18. The discoveries we make add richness and depths to our

**lives.** 「私たちがする（さまざまな）発見によって私たちの生活に豊かさと深みが加わる。」

▶ The discoveries (which) we make が主部であることと, add A to B (AをBに加える) がわかれば, 容易。add to = increase も確実に。richness and depths が add の目的語。

19. we begin to understand the magnitude of language, the greatest of man's creations 「私たちは、人間の最も偉大な創造物である言語の重要さを理解し始めるのである」

▶ magnitude 「重要さ、大きさ」 地震の大きさを表すマグニチュードはこの語である。(→ Q [7])

▶ language と the greatest (creation) of man's creations は同格。

### 全訳

もう1つの言葉（外国語）を学ぶことは重要である。なぜならば、そのおかげで、私たちは異なる国の人と意思を通じ合い、その文化についてもっと多くのことを学ぶことができるからである。しかし、外国語を学ぶ真の重要性はなおいっそう深い所にある。外国語を学ぶことで、それが文化に関するものであろうと、言語に関するものであろうと、私たちが持っている価値観は、相対的なものであるということを私たちは悟るからである。このようにして、私たちの現実の見方が唯一のものではないことや、私たちの価値観が唯一のものではないかもしれないということを理解するようになる。外国語を学ぶことは、二重の経験をすることである。というのは、私たちが新しい言語について学ぶにつれて、この新しい知識を通して、私たちは母国語について、より多くのことを発見するからである。

たった1つの言葉しか話せないことは、窓もなくドアもない部屋に住むことにたとえられる。それは安全ではあるが、暗く閉ざされている。外国語は新しい光を部屋にもたらす。初步的な知識があれば、私たちは窓から外を眺めて、新しい別世界を見ることができる。完全な知識があれば、私たちはドアから外に歩き出して、この新しい別世界を探検することができる。私たちがする発見で、私たちの生活に豊かさと深さが加わる。私たちがこの新しい世界を探検するにつれて、人間の創造したものの中で最も偉大なものである言語の重要性を私たちは理解し始めるのである。

### Questions 解答

- [1] 3 [2] language [3] begin [4] 新しい言語を学ぶと、その新しい知識によって私たち自身の言語をより深く知ることができる。 [5] 2  
[6] 4 [7] 2 [8] 1 = T 2 = F 3 = T 4 = F

### Questions 解説

[1]・[3]～[7] 《解説》の→参照。

[8] 1. l.4～8と一致する。 2. 直接これに言及している箇所はないが、明らかに文全体の趣旨に反する。 3. l.18～19と一致。 4. 直接これに言及している箇所はないが、l.8～11に「外国語を学ぶことは、二重の経験をすることであり、新しい言語について学ぶにつれて、母国語について、より多くのことを発見する」という記述がある。また、常識的に考えて、ある言語を学ぶことは、その国の文化について学ぶことにもなるので、本文の内容に反する。

### 英語選択肢の訳

- [6] 1「私たちが完全な知識を持っている場合を除いて」 2「私たちが完全な知識を持つために」 3「私たちは完全な知識を持っているけれども」 4「もし私たちが完全な知識を持っていれば」  
[8] 1「外国語を学ぶと、ものごとのさまざまな見方があるということを私たちは実感させられる。」 2「外国語を学ぶと、私たちは他の国の人々と違っていないということを発見する。」 3「外国語をある程度知ることで、私たちの生活は豊かで深みのあるものとなる。」 4「母国語を研究しても、母国文化についてさらに多くのことを学ぶことにはつながらない。」

### 要旨

外国語を学ぶことで、他国の人と意思を通じ合い、その文化についてもっと多くのことを知ることができ、私たちが持っている価値観が唯一のものではなく、相対的なものであることも確認できる。言語が人間の創造したものの中で最も偉大なものであることを理解できるという点でも、外国語を学ぶ価値は大きいのである。(146字)